



Sasayama Elementary School

学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成30年 4月 5日発行

平成30年度 第1号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

## 新年度を迎えて

学校長 三瓶 徹

心地よい、うららかな日ざしが春の訪れを感じさせる今日この頃です。また、木々が芽を吹き、花が咲き、鳥のさえずりが聞こえ、桜花爛漫の季節ともなりました。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

子どもたちの元気な声と、笑顔がそろう、平成30年度がスタートしました。今年度も、教職員みんなが心を一つにして、「一人ひとりがいきいきとし、充実感がもてる学校づくり」、「安全な学校づくり」、「児童、保護者、地域にとって魅力ある学校づくり」をめざし、子どもたち一人ひとりが、夢や希望に向かって力強く進んでいける学力と、困難にあっても乗り越えていけるたくましい心と、支え合い、励まし合う温かな思いやりのある心を育てていきたいと思えます。

さて、松尾芭蕉の言葉の一つに、「松のことは松にならえ、竹のことは竹にならえ」があります。人は一般的に松や竹のことに関して、“知っている”“分かっている”と言うかもしれませんが、しかし、簡単に本当の松や竹のことを知ることは難しいことだと思います。本当に松や竹のことを知っている人は、松を愛し、竹を愛し、見守り続けている人です。春夏秋冬、晴れた日ばかりでなく、雨の日も、風の日も、雪の日も、様々な姿を見せてくれる松や竹の千姿万態に愛情をもって見守り、見続け、一体となった時、人々は初めて本当の松、本当の竹の姿を知ることができるということです。

これを「子ども」に置き換えてみると、「子どものことは、子どもにならえ」となります。このことは、一人ひとりの子どもを健全に育てるためには、個々の子をより深く理解し、個性を大事にしていくことが必要となります。

私たち大人は子どもたちに対して、常に謙虚な気持ちを忘れずに、愛情をもって見守り続けていかななくてはならないことを強く感じます。大人の都合が先行するようなことが続くと、子どもの健全な成長には結びつきません。世の中が大きく変動しているこの時代ですが、こういう時であるからこそ目先にとらわれず、原点に立ち返ってみる必要があると思えます。

3月16日には、6年生が立派に巣立っていきました。また、14名の新1年生を迎えて、新しいスタートとなりました。「教育は共育、育児は育自なり」という言葉を、昨年4月の学校だよりにも書かせていただきました。教育する方も、される方も共に研鑽を積み、自分自身も成長しなければならないという意味です。保護者や地域の皆様とコミュニケーションをとりながら、よりよい教育を目指していきたいと思っていますので、今後も、温かいご理解と、一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。